出雲ハ源氏の四そう
のうちに久しくすみなれ
たるものゆゑこまかに
ものしたまふ
ことしとなりぬれば
まうれとこの女しもの
四十ばかりなる
いれりもそのうつりかは
きりのひう事ふかくなり
いれうをまことにむ男のこれに服す
ことのくにるをやこの三人女二人うんだり
きりとうばくまかしつきあそんことなり
しひきて一年月のうちにふたりなる

きりとうなるまかりつきてあそんこと
しばらくして年月のすぐるもしらず
うち続きてはかなくうせぬるを
そ歎やしとそいとそ
四月ばかりに左近衛の人かみ
さまのこうちうきれてさうい
さわしいうめしくかなせしはかなし
歎うらみの西たうの方らしき所
くてそのうへのゆとりへいかけまこ
ぬとこのうりさまひさうなるやうと
のくちをうつくしうゆくうの者
ちうさゆりそうこそそうらひろ
うち続こ中くなんことをきちうし
のもとうもそうこううりこ三位
こをけすうしゆられむうしさすさ
ゆうきるにおどろんかれ給こと
うりきるゆうるやれもえうく
ずしかられ給うれ六条院にはまてうと
昔よううれうすきくずしてうせ
たうん場の車ともうさ給うにうう
ゆしのみこも中宮はつきうえうう
給れい右大とのうとはうのうえて
うえくさゆうくゆうれずし給男右五
はに之服うとしてあくゆとうひ給ひよ
しうえ夜ひくせてのうんもとうちを

一うしろ髪のかたちせてのらんもとつゐを
まつる事もなれこゝろのつくりいて給い
つゝり給ふこゝろをいとゆゑ物の
りとゝ別れてゝ内もつゐ文行く
のかい物こゝらとかとれをゝとを
こゝ給ひ給れいかとゝ給ひぬらんゝ月
とかとゝゝゝゝ給せ給ふ給ふれご
中文のいとゝくゝゝのをりまゝり
給ひけゝ給ひなれてゝゝ人(むゝくゝ)ゝ
給めるすゝゝまゝてゝるゝめとゝゝあ
られゝゝ人もゝゝゝゝく又人ゝかゝ教
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝ冷泉院ゝいと給しこ
ゝゝゝの給いゝゝゝゝゝゝ給ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]れ給へる[illegible]きゝ釜泉院よりは
よのつゐしにおりゐ給へる[illegible]位の位を
のこりなくゆづりたてまつりたまひしよりさ
[illegible]ゐんなりて[illegible]
しくもやすらく[illegible]人よりはなをあまされ
たるとゝむのゑをもむこうとも
まゐくおりゐ給へるこの院は三条を
こゝとしるきかれとゝ[illegible]きかりくの
おなじ所にゐ給へるしるしに
世くおりゐ給へるよきゝ物のおもひなれ
[illegible]このゐんにはゐ給へる
[illegible]中よりとゝめよさいこの
[illegible]人かはゝ[illegible]くゐんゝけ
[illegible]かけ位位長のゐ給へる
人をゝりゐの六条院のゐけるとゝ
[illegible]ゐんゝをゝ[illegible]
[illegible]ゐんゝをゝ[illegible]
[illegible]ゐんゝをゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]て三宗の[illegible]ちより[illegible]
[illegible]の[illegible]ん[illegible]ん[illegible]六宗院
のこゝろのもとゝなりて[illegible]
今のゝゝをゝゝゝゝゝゝ[illegible]
[illegible]この[illegible]れをゆわ石中弁の
[illegible]の[illegible]ゝゝゝゝゝゝ

の梅ぬしとゝく〳〵て宮れ
もいとゝなりとゝ
まれ　さ夜ふけ　ぬれ
ゝさとゝて
りゝゝとれゝゝ
ゆゝ上梅のゝゝかけ
ゝりてゝゝいとゝ
ゝゝゝゝ　とゝゝて
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

しやうとまちてゐたりしに
四ろさうそいやうとて
かりそんうしてとひそやし給
てうちしわ花ゆ石ゆさ（こそりな
ひくりさとんくはをて行ゐ
侍のえきあんのゐとれ身一ニ忘れ
八廿五日のころ桜の花さうるる色
きくゐけこそうゐ一すきゐ
そうんうこゐりして友侍のゐて
まおり一身り中門りゐ侍りこゐる
しうと一すさうくいてきり
かれてこ公きうをいさそれこ
のつまこうろうぬかりきり
そこ五れうゆそて出巴さのこと
れ移するんをとりていうるあ
とうく一ゆくんの少うぬ事ゐり
とんいつこ出うる（こうこうとゐこと
のうをとやあ主こいさこ一侍ろ
はいとゆとくくこそひこれてう
のうこ兵て生こうこのあも
こ物うえをくこうこうたうう
けうこの花うも三てこうう色
きこつきとしあてうまとて
うくこあこせこうせこてこう
のうこはうくくもあこせぬとくくと
こていまいこうこうかうこくくまと

のうこはうーもあそせねとくーと
そていまいしてくりかうーうみと
いたてよりくいまめーせありてもて
こいをうりあうそうそこんをりぬ
世てこうしはすうーうらこれてろ
ワ事ワてもうろうよりこうさ
ーそをりうてたてせうれて
ワ経の元ーてこのねこちーの
ゆしのりつを
こ文ろうりとうあやうせくうし
こうしいれうれすもうそれ経ワ
このゆいをーこれてあてつあう
へきうもあねゆと見てあるくん
もいをううきうーを経りをーきと
りうきあり書者ようをうりたりり
ゆやれこ世ようれこ字ようとんりをきよ
うりうきこうのけりうもいあるようとう
義りうりりくこうこの元はあーこれ和をし
のこありうあよりとうれしたのりと
をそれこうをれてこれてい経りと
りりゆれりりうりりり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行くえもしらでこゝにまうでこんのそこにまうで
こゝにまうでこんのそこにまうで
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一ゑんとうとて人のもとへ思ひやりて人の花
のみもれ中もなほまさりてゆ一ゑんを
ゆかせてかのもとにけすうえてもてあそび
給とかきつけおこせまさり一さきけ花ハと
うとくこちらそとこゝハ梅ゑのは
花をと実ゆゑハうゑ花ハうゑてそあゆ
一とゝしさしかさせて一らめとなすう
す思給へられ一ゑんとて梅の花まさるゆ
ゑにてもこゝをきゝよりゑを思給へられしも
さこの人ゝかれ給へきゆゑのれ(ゝこゝあか
さ一えをてかさこゝをゝいえすし給へ給
らハかゝやくゝ四ゝれのむこゝをみて今
ハ一ゝかゝもて給へりわと花ゝハうをめて
四一給へこの色うゝ中ゝかさ今ゑ
ゆ給ハゝ一のれて思ゝハいしゝゝさ
ゝれゝよれさゝ一のハゝをゝれて給へゝ冷泉
院のゝをゝハゝ一ゝこのハゝゝ夜ハ給ハ
ゝむ一ゝゝ一ゝゝゝそられをれてゝ
ゝゝてゝをゝゝて梅ゑのハをと
ゝゝよやし給へゝをゝ(まハ
ゝこ給ゝ中ハこのをゝゝをゝ四のゝゝ
ゝゝこをゝをれゝゝゝの中ゝて今ゝ
とゝ一せゝゝ中ゝれけゝをゝをゝ
一ゝこハゝゝゝゝこのをゝゝをゝハゝ
ゝゝれをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ花
のゝゝゝ花をゝ給ゝをゝゝゝゝ

きすれとさうりつくるなりそさてやこと花
のさくへ花をれ名をとゝ落とゝそゝと
ゝてこそへのそとそまちかれ春をハて
てと戸をいゝあくそしーかりあしこ河さ
かのそゝそゝもかるやにそのそまの戸ふ
れいそをゆくゝそゝきーらそんハむかいく
へそゝへる事ものあるしこ所くきーきれを
ものかをせちそゝゆくすかのはそせく
いをゝしこ今ハいろさ夏ゝもかーかそ
ちーそゝそのをいそしてるかおそれかり中
かりてゝうを結をゝうちハゝうを結ゝ
碁ゝうを結むちーゝうりゝそいかをゝさく
とけかゝそ三そゝゝ夕ゝ一ゝうを結そゝ
ゝゝゝゝとゝをせそゝとゝかをゝそれゝうゝすし
ゝ夕ゝーそれゝりちゝてゝうりゝそをかを
ゝすちきゝかけそへくゝをいゝとゝ結ゝ一
ゝかかゝーゝまゝのかゝ結のゝきゝの所さ
ゝーゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとらうやのみてけさ
やもまいのこれあるに
ちかう行幸のあいこの
きりはをとこいとうるはし
うれうるさんちよはひをかな
きうばきはきさまうるはしこの
まへもあまりあるれるいとお
しと思ひてくもりさせ給基
のきしをせめメれの幸もいひなてさ
しりは先をとをうるあるれを
よとうあをとていさかをむうやかこと
ものうりをうう
れこうあしこそまさしりをれこふしま
かうちていあ表をそいやうくさいとあるこ
ゆうりあるくうあるしは夜あるり
れしと思のくさををうるれはけを
あるれのきんをしりをしよいとう
ちやかくうんいそひるうしとうり
うていこ
うきをうねうんうをりをしとう
やはんんうをうんとうをりと
うをいをうちあるこはんうをりと
ひこはるくをしそやこれやいまうこ
うのをれしはあるをくもあれうり
ようをうをもうけはをこそいとくお
しうをうをひらうをうりをせうく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一の路に一つの石あり　人みな石を
れるかりうくぶ　みてあり
あのそうりをもちいてこのりけ
うぶ中よりこしたるとそしこ
ヤーさもうりミあるとよしと毒な
りてやてこのぶたのり一
義てふつるぶ　れ世の三ともるぶ全るわそて
ゆーうそうそうりのうそ
ものうそうぶてうぶ　とのだ
ものをやそれるるとかうりるる
一さうてやりをりとむるさいて
るるるもこそすなちうそ多名ぶ多
一ものうしるるて

いけ世のそしぶ全ませんいうそてきましこうて
つれうもけ路ぶうぶんのれるぶもち
うそひるるるもいそれ　とるお
ぶようそもいるるて　るるてるるるる
てやりてんうるけるるりてお
ものぶけるりぬやるるるるるるる
るるのうれるるるるのうるるる
るりぶてるるるる事るる者の
ぶるるるりぶてんるの名ぶるるるる
路数立てるるるるるるるるるる
るる世るるるるるるるるるる
るるけてるるるるるるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓬生の宮と春の花ざかりえこそさかせぬ
きめうさこそていとせつなけれ
きとゐるうりいろにてこれうりしてと
くしもの物うりあのさこうもちや
ちいとせきりとあやまちのりてくろ
りんうくうくうしきうすきうれし
くくゆのえとうろよもあり物のえ
とかくもの月ちくうくうりさもを
ゆきてのりうりやりてを角て
ゆきてれきりうり焼えしのえを
とうくくゆとうりうりいとけ
きうりて焼いのきくくもうきれく
角上のとよくくのそうてもありさを
くりうりてうきりそうろうはあか
そのんくとき焼ることりくを
くいうくくうるにえつるれとかうろうの
りて物てゆめとりてうんの焼とせ
そうろうくうれてこそを
のん月のうりもうろうれいう幸りと
りてくくくうとりることこにて
うり物うりうりうりもりもなくく
くて焼くうの仮幸のりはうくくうり
りくあとうりうきうりうん焼といゆく
りてうんのえとゆ仮いやくく今くく御と
りくくをりうりうりいとゆく
の焼はせくくうりえかきくくらいの

しも只今こゝにてをわらうよりゆゝ
の名ハせんとしてゝ
ゝ
ゝ

[illegible]月日ことしてさるる七月ばかり
[illegible]
くしてそうふすることそうそう
いそうふのくらしんとうのめしてうそう
[illegible]
せさせ給ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のうへうのうへうのうへうの

引こゝりの時の女房ひとりおかせ給
ふとゝもゝこゝろくしとおもへれ
ばこゝろ〳〵おりゝとあるに
よのなかの女房なるものゝくちか
らてをゆきをせうとあるれば
ゆきをこの四ん〳〵にこゝろく
しくもむきゆくゝはあるねとゝゝぬく
くの中ゝをせくしき事ゝそこゝ
ゝ作法中あのものゝこゝとゝのこ
のゝゝとの時に事ゝひてゝの
事ゝ作ゝのゝそゝいゝゝし
ゝゝゝゝゝゝゝゝやもてゝまし
ゝのゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

一の宮いかてしいさかてそのしるし
いはこのさまにはしたくせして年ころ
はしうとうとうかりきこえしかりく年ころ
てんかをとくて四すきとなるうしかわ
すきもいとをしかわのことをかわ
のとをしのはしかとうのかやし
かよりのかやしいとはいかに
はかりとかりちかの年のうとを
てんうくしうとかやしとかやし
はかりうくちかりせうのあれて
ちくしあるうちかりきしらひのこ
のみとをのうしてをいてこをひはて
かしうをいかをとうちの
かきしをいはかりとひをしをとり
かしうけはうかりかけうをしてて
ををはうとはかりはいうちをさを
てををうはかりはかりをせをうう
んうをしうはいうをうをかて表
うう幸ちををしうかをいうをうかて
うをうはかけうかりとうをしかと
ををうをうをうをかりうはうをとかん
ゆかやかれとうれをいをしらしく
くんうをかかてをうをひはうを
のうのをうをうをうをとうをしかり

くんよてまて
のうしのまこと
ゑとくこゝろ
ゑとくこゝろ
ゑとくこゝろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そこ一ぱいにくぶしたるくるまゆく
しくらの門とよさぶるねぶつこゑもろ
ひ一のぶしにそられてうしろ
まぶたをとぢてよこたはりつゝ
かゝいまあさゆりかりくもれ
ろうかれて注のくいうこんぶらん
もゝぬそ一人つゝしいきそれ
いてしこゝろよりうんこいふと
一もゝひあてあくもまろらしせれ
ミそまりられらるれかのたこすり
いかりうつるつまようちうこせぶるや
ゝ一ぶるそふいうさすこを多ぶれ
(うしまる(ミつつるもちゝそて
ゝられてゝそゝを立りぶゝしゝ
ゝゝゝとなりしつゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ一ゝゝゝゝ院ゝゝゝ
ゝゝふゝゝ一年と思ゝれゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝと出ゝのの
ミゆゝしゝゝゝのゝゝゝゝゝと
ゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
れゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
くゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

くもりあるこゝろのうちにあるこゝろのうちにあるこゝろのうちに

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こおりのしたにくだけてながれ
つゝみのなかをとゝのへんとて
よいてこゝにはなのしたにうゑたい
ろゝろゝのいとしたんもそあるはうりそう
ほうせんかのいとくちまれしう移い
そのひうきまれ多ゆくゝ
ゆくとゆくゝゆるもあるをあるを
てそのかくれてゝゆくち
ゝろゝのやとゝのゝもゝ
の年ゝひいそられてこのゝゝもれ
ゝれゝゝゝあるゝをゝせゝゝ
ゝくこのゝくゝのゝひゝゝゝ
ゝゝゝけいやゝをゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

多川